

川西まちなかテラス整備

第2回川西町にぎわいづくり検討委員会 先進地視察研修 まとめ

■先進地視察研修の内容について

テーマ 施設を核とした「まちづくり」と「にぎわいづくり」

〈実施概要〉

日時：2023年8月19日（土）

場所：新潟県三条市「三条市図書館等複合施設まちやま」

参加者：にぎわいづくり検討委員のみなさん（16名）

渡部 桂 氏 東北芸術工科大学教授
（メインアドバイザー・検討委員長）

小池 拓矢 氏 株式会社鈴木建築設計事務所設計戦略室長
（設計アドバイザー）

伊東 優 氏 ツキノワ合同会社代表社員
（設計アドバイザー）

安達 真也 氏 公益財団法人山形県建設技術センター技師
（オブザーバー）

株式会社鈴木建築設計事務所（2名）

川西町政策推進課（3名）

〈タイムスケジュール〉

14:00～14:40 資料説明

新潟県三条市とは？

まちやまという愛称について

- ・ 設置の背景
- まちやまができるまでの移り変わり -
- ・ 建物のコンセプト
- 建築概要、施設内外のつながり、ロゴマーク -
- ・ まちやまのコンセプト
- ・ 各施設紹介
- ステージえんがわ・三条市立図書館・科学教育センター・鍛冶ミュージアム -
- ・ 飲食事業、オリジナルグッズ
- ・ 指定管理者
- ツクール・ド・さんじょう
- ・ まとめ

～15:00 質疑応答

～16:30 施設案内



■ 「ステージえんがわ」のポイント

- 「ステージえんがわ」は当初、高齢者が入りにくかったが、30～40代の子育て世代をターゲットにすることで、孫が高齢者を連れてくるようになった。
- 高齢者は弁当持ち込み可能で、ずっとその場に居ていい仕組みになっている。

■ 「指定管理者 ツクール・ド・さんじょう」のポイント

- 2社協働の指定管理者による運営とし、単なる施設管理ではなく、運営・経営が求められている。
- 施設運営・経営にあたり、半径300mから活動を掘り起こした。さらに、人の紹介でさらに情報を集めた。

■ 「イベント」のポイント

- 年間300件のイベントがあり、まずは土着のイベントを調べた。
- イベントを開催するにあたり、「チラシ」を撒いた。(SNSより効果あり)
- 地域おこし協力隊がイベント企画を考えることもある。⇒協力隊の活動が街に広がっている。